

2 「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係るアンケート調査結果

(2)町(内)会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員へのアンケート

(青森市地域福祉計画 -地域支え合いプラン- p.102)

【問 18】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体の地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するにご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。

(自由記載)

【回答】

町内会が中心となり会館を使用して活動したいが、会館の維持費に苦勞している。会館維持の為の積極的な支援をお願いしたい。

地域の方々が参加する温泉旅行の実施。子供会行事への参加に手伝い協力。地域で行う運動会で地域の親睦。

行政でやってほしい。なかなか人が集まらない。

住民がもう少し地域に関心を持つことが必要ではないかと思っています。

・雪問題、歩道が狭く雪捨て場がなく高齢者、一人暮らしの人の他住民も困っている。
・公共機関、バスの停留所等がなく不便。

私が住んでいる町会には、集会所がありません。他の集会所を借りて使用していますが老朽化しており、住民の方は、そこでの集まりには参加を希望しない人が多いのが実情です。地域福祉を進める上でも集会所を確保して、交流を深める場所を作ってほしいと思っています。

地域で集まる場所がもう少しあったらいいと考えます。今のところ各地の公共的な場所が少なく、ちょっと遠いと思います。

顔見知りになって声かけから交流もたれたらと思っていますが生活に忙しいので外に出かけ昼は居ない。行事などありますが同じ顔ぶれです。進んで参加に期待しては続きません。私の周りが高齢者が多いです。

福祉活動を担う人材が不足している。一人に負担がかかりすぎてる。育成、教育が充実すれば最も良いと思っています。

集会所・地域の公民館など週に1~2回でも開放出来るシステムがあればいいと思います。

地域の過疎化が進む中で賑わいのある地域作りが必要ではないか。

町会等の行事に進んで参加する事によって地域の人々の顔もわかり、町会でどのような事に力を入れているか分かります。地域が活発に発展するのは町会の皆の力が1つになれば良いと思います。若い人の力が必要な時になっているのではないのでしょうか。

町内会の交流会を増して、住民同士の触れ合いの機会を増していくことが大事だと思う。

個人情報不足すぎる。

<p>隣近所同士が互いに思いやりの心を持つこと。</p>
<p>・近所の地図が分かり易い掲示を。・玄関灯など、どの家でも灯すこと。・世話役、警察(派出所)など連絡し易いように場所、電話番号など必要なときすぐに見つけられるように。</p>
<p>これから先、町内会を維持していかれるのか不安。高齢者は家から出ず、若者は町内会の集まりに出席しない。一つの町会に偏らず地域を広めたらどうだろうか。</p>
<p>地域の人(農村)の協力がなく、啓蒙につとめてる。若い人の意識が低く、福祉に対する認識を広めていきたい。</p>
<p>高齢者や障害者に対して、民生委員にばかりに委ねないで、市の方でももっと積極的に訪問して情報を提供して欲しいと思います。特に障害者に関しては何もわかりません。</p>
<p>小学生、中学生が挨拶をするのを見て、高校生、大人も挨拶をするよになると子供にも高齢者にも目が届くようになると思う。</p>
<p>現在の社会的には地域のリーダーと係等のなり手を養成することが第一に必要であると思います。</p>
<p>高齢者が多く夫婦1人が欠け1人暮らしが目立っています。外へ出る機会が少なくコミュニケーション無く、もう少し地域で皆さんが集まる場所が欲しいと考えます。元気で生きがいのある生活お年寄りが安心して暮らせる事を願ってます。</p>
<p>町内会と一帯になり活動出来ることが望ましいと思う。</p>
<p>地域で福祉活動に携わる人々は既に高齢化しており、中堅層の参加がほとんど期待出来ない事が悩みの種となっている。長い目で見た場合、学校教育の中で社会福祉の必要性を学ばせることが必要ではないか。</p>
<p>福祉に関する相談窓口の充実。</p>
<p>隣との付き合いのない人が意外に多く、1人暮らし・老夫婦2人暮らしの人は訪問すると話したい事がいっぱい狭い世界で生活されているなと感じます。月1回の食事会に来て皆さんとお話しながら仲間づくりをする様、声掛けしていますが、やんわり断られている状態。楽しんで欲しいと思っています。</p>
<p>高齢者の居住施設の充実を図ること(有料でよい)</p>
<p>北部市民センター内に健康寿命を延ばす為にも器械体操が出来る器具の設置と非常勤でも良いのでインストラクターを付けて欲しい(※介護予防の為)</p>
<p>校外ですが、緑が多く、静かな環境に住んでおります。少子高齢化が進み土日曜日、公園で遊ぶ子供の声が聞こえず、寂しく感じております。設備の整えた福祉館を建築してほしいと思います。</p>
<p>地域の中には、地域福祉に興味・関心や活動意欲のある人材が埋もれていると思われるので、それらの方々を発掘調査する。</p>
<p>戸建ての住民と団地に住んでいる住民が混在している。また県住と市住とが同じ敷地内に在るにも関わらず住民の交流はまったくない。地区社協も別団体。しかし新築になる集会所は共同で使用するという。なんか変じゃないですか？行政の都合で地域住民を分けているのではなか？団地住民の交流がはかれる様、後をしをしてほしい。</p>

地域福祉を進める為の人材不足。協力者が少ない。
私の所は県営住宅です。どうしても団体生活の場であり個人の場合もありますが、他人に思いやる心が少ないように思います。そこを一步踏み出してくれたらもっと横の繋がりが出来ると思うのでどうしたらいいか考えています。(自分が手出しすると何かいわれるのが怖いと)
町会中心にした住民の日常生活、又は趣味等に関連した組織の仕組みづくりを行政が中心となって行い、町民が町会の活動希望する組織に参加し、これを通じて生きがいを感じられるものにしたい。町民が何かに参加し楽しめる日常生活の満たされないものを補える仕組み作りがあってはどうか、アンケート等活用して仕組みづくりする。
地域の方へ積極的に触れ合う、これしかありません。私達の声かけが一番だと思います。そして相手が心を開いてくれる。
・マンション、アパートの住民との交流がなく情報もほとんどない(町内会にも属さないのが難しい)・住民が皆高齢化してしまい災害時に支援する方もされる方も高齢者なのが現状。
①民生委員として10年以上活動してきましたが、「避難行動要支援者」関係の仕事が確実に増え以前より格段に心労が増えました。どう考えてもボランティアの域を超えると感じております。毎月毎月訪問する家が増え、このまま市役所の使い走り民生委員を続けるのは嫌です。「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らす」には私達のようなボランティアも必要だとおもいますが民生委員には限界を感じています。②児童扶養手当申請のために民生委員が現状確認者を書くのですが近頃は10代も多く、鼻にピアスなどして初対面で「現状確認書」を書いてくれ・・・と高圧的に来宅する人もいます。初対面の人の男女の関係など現状を知る由もありません。この様な確認も本当に嫌ですし出来ません。市役所の担当者がやるべき事だと思います。
町会間の連携、各団体の連携強化。若手協力者の育成。町会長や地域リーダーの世代交代をスムーズに出来ないか。
昭和39年から現在地に住んでいる。引越して来た頃は、よそ者という目で見られた。じっくり行かぬ事もあった。“住めば都”でここが1番住みよい所と思う。老若男女問わず交流出来る何かがあればと考える。町会長、諸役員方々の尽力をの望んでいます。
若い人に参加して欲しい。
挨拶。
少なくとも地区の住民の氏名、年齢、家族構成等を町会で把握しておきたい。
自町会の高齢化率は35%を超え、青森市の平均を大きく上回っている。そのため、本人緊急時の救護者や避難支援者不在等の弱者が相当数おり、とても心配している。市役所～社協民児協～包括支援センター～町内会～消防～警察等のネットワークの強化が求められる。上記の垣根を極力取り除いて、今のうちから10年後20年後の高齢化社会を見据えた体制を創っていかないととんでもないことになると思う。
地域で出会った人々と、誰とでもいつでも笑顔で元気よく挨拶出来る事を心に掛けて生活したいと思います。

浪打一丁目:浪打町会に町民の利用できる会館が無い為、質問にあるような活動は困難である。町内会、福祉活動を充実するため是非必要な施設である。全市を調査し、一定区域内に上記の施設がどのように配置されているか、検討すべきである。例、施設建設の土地があれば補助金を出すとか、近くに施設が無いとため離れた施設に行かなければならないとか、老人が増える社会にのんびりしてられないのではないか!
地域福祉活動の拠点となる施設の増設、充実を期待する。
地域ごとでの“防災訓練”について地域福祉で行って下さいと言うだけでは地域の隅々まで行って下さいというだけでは地域の隅にまで行き互っていない現状です。「避難行動要支援者台帳」等に多額の費用をかけるだけでなく、行政側の指導のもと避難訓練等を積極的に働きかけて下さる等役所で動いて「見本」を見せて頂きたいものです。そうでなければ“防災計画”は「絵に描いた餅」になりかねません。行政側の積極的な姿勢を期待するものです。
最近が高齢者に対しては色々な福祉の情報がありますが、生活苦の若者、母子、父子世帯が見えず色々な問題が発生しています。犠牲者が出る前にもっと相談し解決できる窓口の充実を感じます。
声かけをしています。
町会の役員が高齢者が多く、もう少し若い方が町会の活動に参加して頂ければ、色々な分野に活動が広がり、町会も発展して行く様な気がします。福祉に限らず、町会では町会員に向けて土手の草刈り、公園の草取り、親睦旅行等計画しておりますが若い方の参加が少ないです。
地域住民同士が助け合い差さえ合う事が出来る仕組みづくりがあったら良いと思う。
行政が各地域を巡回して町内もしくは地区社協との意見交換をして地域の実態を知って欲しい。年に4.5回程この様なアンケートだけでは問題点が見にくいと思います。
地域のコミュニティ機能の強化で人間関係が希薄になりつつある状況を改善する。
町会の役員でも成り手が少なく、役員は大変忙しい。
青森市民祭(?)等の無料コンサート(大正琴等)を高齢者(老人クラブ)の人達を送迎の為に福祉バスを無料で提供してほしい。お願いします。
・60歳からは高齢者、75歳からは後期高齢者などの年齢で区切って、様々な福祉活動が行われていますが、例えば60歳は今では若者と言える程だし、75歳を過ぎてもしっかりと独立して生活している人もいます。これからは単純に年齢が高いからと福祉の恩恵を受けなさいと言えない状況が出てくる。では、どうするか…。 ・もう一つ最近気になるのは男性の一人暮らしが急増している。そして女性は一人でも何とか生活を崩さずにいるが、男性は酒、食事をしない、物を整頓しない、ゴミの出し方が分からない、庭は草ボーボー、居るか居ないか分からない。などの心配な事が増加している。この人達に目を向ける必要があるのでは?
各市民センターでおこなっている講座や教室を自由ヶ丘の会館でも行う為には、どのようにしたらよいのか教えて欲しい。近くで、いろいろ学べたら、もっともっと交流の場が広がると思うので…。

私達民児委員は町内全部は手が届かないところがありますので、ご近所同士もっと助け合う地域になって欲しいと思います。
地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やす事。
自分の子供が小学校の頃だったと思いますが、町内の運動会が市民センター横の公園で行われました。私達の地区は広いので町内何部何区とわかれていましたが、各部ごとに分かれ子供から老人まで一緒になって協力し合い競技もとても楽しかった記憶があります。今でもよくあの時の様に運動会をやればと思います。(隣近所がもっと親しくなれるのでは?)又、町内の盆踊り大会も子供から老人まで沢山の参加があり、2日間とても楽しかったです。子供から老人まで一緒に協力出来る活動があればと思います!
高齢者の一人暮らし及び空家の増加が進んでおり、特に冬場の除排雪に支障が出ている。→流雪溝が整備されている荒川地区の家屋購入(移住)が制限無しで行えるよう都市計画法の見直しを要望する。※時代に合ったものに!
年々少子高齢化となり民生委員も高齢者・欠員等もあり、地域住民同士が助け合ったり支え合う事も難しくなる事を懸念しております。行政機関、包括支援センター等の地域へのもっと積極的な関わりが必要と思います。
周囲の着付けに目を向け、良いと思ったら行動して輪を広げる事、自分でも出来る事が見つかる、又見つける事。
町内会やボランティア団体、民生委員が高齢化していて、柔軟に発想や動く事が出来ない傾向がある。又、スタッフの勉強不足や理解の乏しさも感じる事が多い。
地域住民が集える会館があれば良いと思う。
地域同士もっと触れ合う場や機会を作っていけたら良いと思います。高齢者達専用に講習会や講演会などを行えば良いと思います。
地域福祉を進める為の施設(市民センター)の拡充、これまでの8館構想で建設されてきた例えば荒川市民センター等の規模の大きいものは必要ない。最低限地域住民の集う事の出来る福祉館の建設やリフォームして安全に利用出来る場が欲しいです。
地域は、どんどん高齢化が進んでいる反面、生活保護世帯の増加で一部治安が悪くなり、子供や高齢者が安全に暮らしづらくなっている。地域の皆さん口々に"あそこさえなければ..."とまとめて1つのアパートを占領している事に問題がある。まず地域の安全な環境が必要と思う。
居住する地域に歩道橋があるのですが樹木が育ち過ぎていたり手入れが不足だったり害虫が発生し毎年の様に虫刺され等の被害が発生して困っている。又、秋になると日暮れが早い為、外灯が消えたり木の葉っぱで影が出来、児童・生徒には危険な事もある。こんな苦情はどこで聞いてもらえるのか。又、解決は可能なのか毎年の様に不満が出る。
誰もがいつでも気軽に立ち寄り自由に利用できるコミュニティセンターが欲しい!例えば(カルチャー、学生の作品発表、地域の人達の色々な発表会、研修会等々)子供から高齢者まで楽しく交流できる場所。是非、実現して欲しい!
個人情報秘守されるなか、手助けをしたり、支え合う点で壁になり、地域住民同士の繋がりが希薄になる時があります。核家族が進み、安心を守る為に難しい課題となっています。

<p>冬の時期の除雪、排雪の充実だと思います。特に高齢者世帯、一人暮らしの高齢者の方達は困っております。そして引き籠もりで働けない若者達への道その家族の方達への情報提供など…。そばにそういう方が何組かいらっしゃいましてある程度までは努力したのですがそこから進む事が出来ず心に残っております。</p>
<p>気軽に立ち寄れる“福祉カフェ”の様なものがあれば良い。</p>
<p>各種団体の行う諸行事への参加を気軽に行ける様な施策。</p>
<p>古くから住む人、新しい人と分け隔てなく関わっていく事。誰でもが自由に参加できる集いサークル等の充実(住み慣れた所でも近所の人を知らない事もあるため)</p>
<p>地域の様々な団体とのネットワークづくり→皆が参加しやすい事業の立案→実行</p>
<p>行政は、民生委員に対し、あまりにも多くを押しつけてはいませんか？私達も出来る事は限られており、出来る事なら次の人へと思っている人も多いです。出来るだけ、地域の為にと頑張っていますが、あまりにも押しつけな対応をされると、自分の時間、家族の時間が無くなります。皆さん、月のうち1/3～1/2位何かしら活動している事を知って欲しいです。</p>
<p>個人情報保護法が壁になり過ぎない様にもう少し臨機応変に対処して地域住民が他の人の手助けが出来やすい情報公開の方法を教えて欲しい。</p>
<p>高齢者世帯が多く活動が限定されてきている。世帯内に子世帯があっても同じく活動しない。高齢者と次世代との交流がうまく出来れば良いが。</p>
<p>冬の除雪が大変です。高齢者は特に大変で幸畑団地から引越する人もいます。幸畑団地にも除雪の側溝があれば良いと思います。</p>
<p>安否確認、民生委員1人では限りがあるので町内役員・老人クラブ等の役員と一緒に見守りを実施出来ると良いと常時考えております。</p>
<p>地域の方々に民生委員が何をしているか分かって下さればとても助かります。</p>
<p>高齢化社会を迎え地域福祉の充実は最も重要な施策の一つである。トップ(市長)が率先して推進すべき。</p>
<p>・町内の中に派閥らしきものがあるのであまり先人観を持たないで好きな人も嫌いな人も居ると思うが自分から進んで声をかけていく事によって少しは仲よくなって住みやすくなるかなあ？ ・相手の話を十分聞いてあげる事。</p>
<p>若い働く町会の人達の行事への参加。地域の子供達の見守り等が大事だと思います。</p>
<p>近所住民が仲良くなる様な取り組み。雪でのトラブルがかなり多い様に見えます。</p>
<p>ご近所とのコミュニケーションの充実と徹底。</p>
<p>団塊世代が高齢者の年齢に達し、担当している町内でも一人暮らし及び高齢者のみの世帯が非常に増えています。先頃の新聞に「65歳以上の高齢者の身体機能や健康レベルは10～20年前に比べ5～10歳若返っている」という研究発表が日本老年学会で報告されたとの記事が掲載されていました。(2015.6.14付朝日新聞)我が町内の60代の方々も若々しく活動されていました。高齢者世帯の対象を5歳引き上げても良いのではないのでしょうか。</p>
<p>地域住民同士がふれ合う場所が少ない。特に雪国なので福祉館などを増やしてほしい。</p>

地域住民が互いに協力し合う事で豊かな生活を続ける事が出来ると思う。
現在筒井地区の民生委員児童委員が高齢化をしてきており、後継者不足が重なって一人一人の負担が多くなっている様に思います。地域の方の民生委員児童委員に対する理解を何よりも後継者不足を解決する対策はないものかと思えます。高齢者が増え、子供の問題が多くなります。人材不足は大きな問題であると思えます。
公民館の施設の老朽化、お年寄りには椅子(座卓)、机が使いづらい。ティーカフェ施設があればいいなあー。子供達と交流できる施設、お年寄りと食事ができる施設など。
充実したスーパーが欲しい。福祉館、市民館、その他大きな皆が集まれる様な建物が欲しい。病院、温泉等欲しい。
住民の高齢化で町会活動にも参加しなくなっている為、住民同士のトラブルも発生している。(ゴミ置き場清掃当番や班の組長さん等)町会と連携して対処するもの大変である。
地域住民との交流の場が1ヶ月に1回あれば、親密感がわくと思う。
地域の住民が高齢化しているので地域に若い家族が入って住んでくれ。地域を活性化し高齢者も若い人もお互いに支援し合える地域にする。
地域で子供を育てる事を目的として近所同士の付き合いを活発にして昔の様に近所で子供の事を見守り出来る様な地域社会を作っていく。港町地区にはコミュニティセンターがないので、考慮して下さい。
1. 地域の活動拠点となる集会所が欲しい。2. 地域住民に地域福祉の重要性を認識させる為パンフ等を繰り返し回覧し意識改革を図る。
お年寄りの交流の場を作り、継続していける活動にする為、スタッフの充実を図って欲しい。地元小学校、中学校も統合の為なくなり、子供達との触れ合いも少なくなりました。元気な声を日中聞く事もなくなり、淋しい限りです。お年寄りと子供達との交流できる場を作ってほしい。
東部市民センターもありますが小規模でも近くに高齢者でも歩いて気軽に集まれる場所があればと思っています。
町内会は高齢者中心の活動となっています。もっと若い人達に行事に参加、興味をもって欲しい。
言葉で簡単にかけません。
他の地域(町内)でこういうことに取り組んでいる情報が欲しいし、参考にして行きたいと思えます。事例があれば!!
町内、民生委員をやり→役員や一部の人達は、地域の為頑張っている事がわかりました。難しい事ですが、多くの人が地域やいろんな物に感心を寄せ、出席、行動をしてくれれば、もっともっと理解し合え、住み良くなるのでは・・・?とっております。
もっと若い世代が活動に入りやすいよう、配慮したり、役員も一人一役で多くの人達に関わるようにすると色々な考え方や思いがあり、より良い福祉活動が出来ると思えます。
・若い家族の町会行事への参加を促す。・お年寄りに対する情報を伝える。
行政があまり関わらず、地域の住民同士が助け合うようにならないといけないと思う。住民の意識を変えるようないい知識がないものではないでしょうか。

<p>近所同士の交流が昔と違って少なくなってきたと思うので、もっと交流を深め、仲良く暮らしていければいいと思います。(隣に住んでいる家の人が病気で入院していてもわからない状況です。)</p>
<p>今まで通りの活動で進めていきたい。</p>
<p>公の機関がもっと足を運んだら、アンケートも必要ないし、見えてくるのではないかと思います。どうしても、民間に頼っていると色々な問題が発生して来ます。ボランティアも同様だと思います。公の機関に期待するばかりです。</p>
<p>街燈の故障などに対する迅速な行政の対応を望む。</p>
<p>積極的に関わってくれる人材が少ない、高齢者が多く若い世代は働かなければならないので時間がない。声をかけても参加してくれない、訪問しても出てくれない等、悩みの方が多い、感心が薄い。・町会に集合場所、子供から高齢者まで</p>
<p>地域の人同士の声かけが何よりも大切だと思います。何かあった時に特に声かけが活かされる気がします。</p>
<p>高齢者の一番の心配事は雪に関する事が最も多い除雪だけでなく、融雪設備を充実し雪国でも安心して暮らせる青森市であって欲しいと思います。</p>
<p>民生委員・児童委員として担当地域の住民情報が欲しいです。住民訪問もし、高齢者等の把握に努めていますが、行政側からの調査に必要な情報が不足のため、大変です。災害時の事を考えると、とても不安です。他県、他市町村との交流をし、青森市役所も考えるべきです。基になるものが無ければ地域福祉計画の机上のものでしかありません。</p>
<p>冬期間の除雪の問題と団地(幸畑第四団地)の入居率を上げて欲しい(※72%位)</p>
<p>今後、高齢者の増加が予想されます。地域住民(町内会)同士のコミュニケーション作りが必須であると考えます。町内会の充実(具体的には役員会を増加し、情報提供の機を設ける)が重要。</p>
<p>皆様には大変お世話になっております。これからも宜しくお願いします。</p>
<p>難しい問題です。</p>
<p>バウンドゴルフ、健康に気をつけながら、軽い運動を地域の人達と一緒に出来る事が楽しいです。誰でも参加できます。</p>
<p>町会全体の高齢者が多い為、地域館や近くの学校を利用して体操などをしたりすると、どうかなと思います。</p>
<p>住み慣れた地域の定義は何か明確にすべきである。町会なのか、近隣はどこまで指すのか明らかでない。これからは住み慣れた所だけでなく、どこに住んでも安心安全に暮らす事が必要であると考えます。</p>
<p>人との出会いがあった時は、挨拶をする事から始めれば、もっと親しさが生まれると思う。</p>
<p>最近行政と地域の連携で交流を深め少し活動に協力する方が多くなりました。今後も民生委員として声かけや見守り、安否確認等地域が明るくなるように、又挨拶は大切ですね!!今後共、ご指導宜しくお願いします。</p>

<p>・地域住民同士がもっとコミュニケーションがとれる様な企画を実行する。・在宅高齢者が積極的に地域住民同士、隣人と仲良くなれる企画をする。(今それが薄れていると感じる)・在宅高齢者が(社会福祉に協力しているという生きがいをもてる企画をする。</p>
<p>災害時避難場所が遠い。高齢者は歩いていけない。他にも何ヶ所かあれば良いと思う。</p>
<p>空家が増え、高齢者(自分も含めて)が多くなりました。地域全体が暗くなりつつあります。若い人が住みたくなり、またその為には地元で働く場所が欲しいです。</p>
<p>年代の若い人の参加、協力!アパート等の居住者の情報が少ない。</p>
<p>地域福祉に熱意を持って行動出来るリーダー的存在が必要だと思います。</p>
<p>住み慣れたここ柳町で長い間商売をしていた方ですが年を重ね商売を辞め、校外に住居する娘さんの所へ行きました。しかし、柳町の人々と柳町が好きと総会、レクリエーション家族の協力もあり 88 才になった今でも喜んで参加してくれます。その様子を見て、この地域には特に問題はないと感じました。</p>
<p>町内では運動会を初め、お互いがふれあう機会を設けているが参加する人は特定化し、なかなかお互いの輪が広がっていかない。でも 70 代、80 代の女性の方々は活動的でリーダー性のある方々が多いので声がけ「おはようございます」等、明るく元気な声がよく聞かれるので、お互いに気持ちよく嬉しい気持ちになる。比較的小さな町会の割には、アパートが 7 棟もあり、個人情報との関係で年齢等把握出来ず、訪問しても居るのか居ないのか分からなかったり、返答はするが会う事は出来ない等、同じ町内に居ながら、孤立して生活している方が増えているように感じる。アパートに住んでいる方でも高齢の方であれば、年齢や氏名等、民生委員の方へ連絡が届く方もあれば、把握しきれていない方も居るように感じています。不動産では個人情報の為、町内には教えない。例えば、75 才以上の方が住んでいる時は町会長、民生委員には連絡する等の取決めが欲しい。</p>
<p>地域住民が何事にも無関心過ぎると思う。地域全体で取り組める様な物が多いと良いと思う。今後高齢化が進めば住民(地域)の連携が必要となる。早ければ早いほど取り組めたら良いと思う。</p>
<p>地域が高齢化になり自分の事で精一杯で余裕がなくなっている。</p>
<p>子供や高齢者がいつでも出入り出来る施設で楽しく過ごせる場所があれば顔見知りも増えて、地域内が明るくなり、交流も出来て良いのではないかと思います。</p>
<p>隣同士が声を掛け合う事。助け合いが必要です。</p>
<p>冬場、雪で困っている高齢者が年と多くなっているのでは雪対策にいついて何か良い方法がないでしょうか?</p>
<p>高齢者が見守りをされていると感じる仕組みづくりが必要だと思います。</p>
<p>交通手段(せっかくの交流場所があっても、そこまで行く足がない)</p>
<p>地域住民の高齢化が進んで活動を担う人材が少ないのが実情です。年齢に関係なし、お互い住民同士、助け合い支えあって協力していかなければと感じています。</p>
<p>地域福祉について子供や若い世代の方には参加しづらいのか必要性が理解できないのか、助け合いや支え合う事が少ないと思うので、啓発が必要だと思う。</p>

<p>地区社協管内、包括センター管内で様々な取組みがされていますが、具体的に効果が期待出来るのは、より狭い範囲の「町会」です。町会ごとに意識の差が見られ、町会幹部(町会長、役員)への意識高揚対策が最重要と考えます。問 14～16 の 7 項目について民生委員が推進するために、町会の協力が不可欠ですが、現状では町会幹部の意識が低いため、踏みとどまっている現実です。</p>
<p>町内会役員、地区社協、民生、関わりのある方々の団結!が一番。高齢になられた方々が上に居ますと、なかなか下の意見を聴かない面倒な事はやりたがらない町内会会長、役員!又、役員同志の仲が悪い事が一つにまとまらない理由ありと思います。</p>
<p>①自分が住んでいる地域にもっと感心を持ってもらいたい。②子育て支援で地域の小さい公園等整備したら子供達も外での遊びが楽しくなると思う。③老人クラブの活動に援助を充実して欲しい。</p>
<p>冬場は特に家にこもりがち。気軽におしゃべり出来る屋内施設が近くにあると良いと思う。</p>
<p>行政と福祉に携わっている方々との繋がりをしっかり支える仕組み作りを強くする。相談の窓口を一つにしていく。</p>
<p>色々と行事を町内で行っているけれども参加する人が決まっている。</p>
<p>家の前を通学する児童・生徒に出来る限り声をかけ、見守りしています。時にはあの笑顔に私も励まされる事もあります。又、地域の健康教室・町内女性部での健康体力づくりの行事他お手伝いもかねて参加していますが微力ながら少しでも地域の人々とふれあえれば・・・と日頃より心しております。</p>
<p>市 - 社協 - 地区社協 - 町会連合会 - 町会 - 民生委員の定期的な交流が欲しいと願っております。</p>
<p>私は「見守りや声駆け活動」をかねて、どうしても人に馴染めない高齢者がいて、どうしたら家から出せるのか考えた。町会の役員も私がやっているの、町会の回覧を隣に廻す時に浅虫にレクリエーションで行くんだって一緒に行こうと1人であるより温泉に入って御馳走たべてくるべしと誘って家から出すようにした。そうでもしなければ、引き籠もりになっているので、仕方なく行ったみたいだけれど、時間経つごとに笑顔になり大きい声も出ているのを、遠くから見て無理に連れてきて良かったなと思った。このままの状況が続けば孤独死と言う事を考えていましたが、どうやら人の輪の中に入れたなど、ほっとしました。後日聞いてみたら楽しかったと、自分の考えがおかしかったと、又誘ってねと言われ一つ肩の荷が取れたような気がした。誠意を持って接すれば答えは出るという事を体験しました。</p>
<p>最近、隣組の班長をしまったので、町会の総会に出ましたが、町民の参加が少ないのにびっくりしました。班長でさえ出席していなかったのです。地域住民同志の助け合いという事も難しくなっていると思います。又、今冬は雪の件で近所といがみ合うという事件が生まれました。つまり、地域福祉は健康福祉部だけの問題ではなく、道路課等の協力もなくてはいけませんね。</p>
<p>人間の基本である健康づくりを地域、行政全体で取り組む姿勢が住民がまとまっていくもとなるかも。例えば、運動を兼ねた地域清掃活動の実施とか。</p>

地域福祉に対して活動している年代が 50 代以上で若い世代(大学生、高校生等)にボランティア活動をしてもらい、関心を持ってもらいたい。また 30 代 40 代の方々は仕事に追われ、なかなか協力できていないが、負担にならない程度で協力して欲しいと思う。

近くにスーパーもなく運転出来る方は何んて事はないけれど高齢者には不便です。食料販売者でも来てくれれば良いのですが。

近所の人との交流が大切な事だと思います。一人暮らしになった時など特に自分の子供にも近所の人のお話を話しておく事も大事なのではないのでしょうか。

60 代 70 代が頑張っているのですが若い人達との交流がなく、町会運営が先細りの現状です。町会の事に関心を持ってもらうにはどうすればよいのだろうか？御指導お願いしたいです。

高齢者が増える現在困窮者が多くならない政策を考えて欲しい。

自分の今の行動が精一杯で未だ未だ余裕がありません。先ず自分が確りすること、もっと勉強してからと思います。「自分が確りすれば、自分の行動が地域に貢献するでしょう」他の人も同じことを考えていると思います。どうしたら全員、その気持ちを出せるでしょうか。問 17 の 1 番が必要です。

自己啓発に他ならないと思います。昨今の殺伐した世の中にあってどうしたら暮らしやすい、そして昔の様な近所の付き合いの出来る和気あいあいとした笑顔の絶えない街作りが一つ一つの町会の我が広まる事により社会全体が明るくなっていくと思います。私は、町内 1 人 1 人に必ず挨拶を心掛けしております。アパートの方々から、初め朝の挨拶は忘れずやっています。

同じ町内に居ても少し離れている方の氏名も知らないで生活してる傾向があります。もっと地域のふれあいが大切におもいます。町内で何かのお楽しみ行事をしてみたらいいのでは・・・と考えています。